

浜岡原子力発電所3号機 低圧タービン動翼取付部の点検について

2012年11月28日

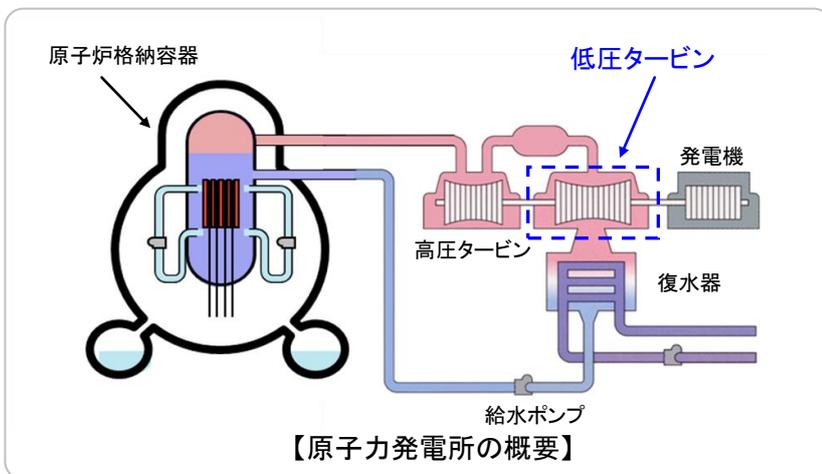
浜岡3号機第17回定期検査において、低圧タービン第7段～第12段の動翼^{※1}取付部(車軸側)全周について超音波探傷検査^{※2}をおこなっていたところ、低圧タービン(C)の高圧タービン側第12段および発電機側第12段の動翼取付部(車軸側)に、有意な指示波形を確認しました。

この点検は、浜岡4号機の低圧タービン第7段～第12段の動翼取付部(車軸側)を点検した結果、有意な指示波形を確認したため、浜岡3号機の同部位について実施しているものです。

(2012年8月8日、9月4日 お知らせ済み)

指示波形が確認されたことから、今後、詳細な点検をおこなってまいります。また、低圧タービン(C)第7段～第11段および低圧タービン(A)(B)についても引き続き点検をおこなってまいります。

点検結果は、あらためてお知らせします。



※1 タービンに入ってきた蒸気エネルギーを回転力に変換する羽根であり、タービン車軸に固定され回転します。

※2 非破壊検査の一種で、検査対象物に超音波を入射し、対象物の内部を超音波の反射により調査する検査です。

以上

